

Art Gallery

卒寿記念 昇龍展

この度、ホテルナゴヤキャッスル会場にて、
昇竜展の個展を開催させていただき、大変光栄に存じます。

昭和 55 年から上海、蘇州を始め、
25 回程、大同の石仏敦煌の壁画、農村風景を取材致しました。
今回の作品は、九龍壁の陶製の龍などを
参考に製作したものです。
自由きままな未熟な作品ばかりであります、
ご高覧の上、ご高評賜ることができましたら幸甚に存じます。

箕輪 芳二
Yoshiji Minowa

Profile

略歴	現在
日本美術院特待	岐萌会会長
岐阜市教育功労賞受賞	あるく会主宰
岐阜県芸術文化顕彰受賞	
岐阜市民名誉賞受賞	
地域文化功労者	
文部科学大臣賞	

「Gallery at the Castle」は一般の皆様のご様々な分野のオリジナル作品を月替わりで展示いたします。
お問い合わせ：アートギャラリー事務局

4
April
2019

Gallery
at the
Castle



花降る

ここに揚げた花降るの図柄は、
満開の野花が龍にからみ付き、龍が花を掲げる
花が恋しく慈しみ離れる事ができず酔う憂しき龍



巡る

闘争心丸出し今にもかみつきそう、
この図は中国北京に出逢いし、一番強烈な龍にて
赫赤と炎上る現在を強烈によみがえる、
陶壁五龍壁の一部分である



火祭り

深夜の静寂をやぶる強烈なお祭り

売約済み



青龍

カウントダウン、闘い前の秒よみ、いかに戦うか、大きく口を開けて目を光らせ、軀は大きく尖える、全身力が溢れる、呼吸が乱れる、もう逃がさない



宙へきらり

紫刻の空へ四本の指で玉を握り、
天へ駆登らんとする豪陰に、姿を蛇の抜殻の如き
跡を暗闇に残し、紫こくの宙へ漂い一気に舞上る



どこか

山の岩間に登りつつ岩に巻きつき、
割れめに三本の爪でよじ登る、うねりうねり
一呼吸入れて、うねり何時の間にどこか遠く先に



遊

長い戦いも無事すんで、水につかりゆったりと、
丘には赤い花が咲き、清流につかり疲れを癒し大きく息を、
全身をうねりうねり一休み、
軽やかに涼しげに水辺に心が和む



慈光

全国に龍の図は数多く見受けるが
不思議にも水墨調である、頂上紫黒の空へ
星を目指して一気に駆け昇る、紫黒の空に消えた



飛遊

陶版五龍壁の壁を参考に、横に画面巾を広く、
夢中にさま酔い晩秋を駆回り、
やがて疲れて月を眺め、酔いながら丸く目一杯に開き、
赤赫と秋風にさま酔いゆらゆらと天上へ去って往く

ホテルナゴヤキャッスルでは、
「Art Gallery」
に芸術的・文化的作品を展示いただける団体を
プロ・アマ問わず募集しております。
一般の皆様にアートギャラリーをお貸しし、
オリジナルの作品を月替わりで展示いたします。